道路標識に関する
調査表記入マニュアル

〔Ｅ０５０〕　標　識　基　本

この調査表は、道路標識のポールまたは門形構造物等に関する基本的データを登録するためのものである。ただし、ここで取扱う道路標識は、道路管理者が設置したものとし、都道府県公安委員会が設置したものは省くものとする。

１．一般的注意事項

（１）データは次の単位で作成する。

○　ポールまたは門形構造物等１基毎とする。

（２）道路標識に関する個々の標識板の表示内容等については「E051標識各板諸元」にて作成する。

（３）道路標識に関する写真・図面類については「E052標識図面類」にて作成する。

（４）道路標識に関する補修履歴等については「E053標識補修歴」にて作成する。

２．記入事項

（１）工事番号

（２）工事区分Ｃ

（３）施設対応番号

（Ｃ）地整Ｃ

（Ｄ）事務所Ｃ

（Ｅ）出張所Ｃ

（Ｆ）路線

（Ｇ）現旧区分Ｃ

（Ｈ）整理番号１

（Ｉ）整理番号２

（Ｊ）整理番号３

（Ｎ）補助番号

上記（１）、（２）、（３）、（Ｃ）、（Ｄ）、（Ｅ）、（Ｆ）、（Ｇ）、（Ｈ）、（Ｉ）、（Ｊ）、（Ｎ）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（P）名称

該当する道路標識の名称を、１０文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字）で記入する。名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入する。

（Q）百米標（km）

該当する道路標識の設置位置の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（R）距離（m）

該当する道路標識の設置位置の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（S）上り下り区分C：◆

標識の設置区分について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
上下線共通	0
上　り　線	1
下　り　線	2

（U）設置箇所C：◆

標識柱の設置箇所について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
歩　　道	1
中央分離帯	2
路端（道路端）	3
交　通　島	4
そ　の　他	9

（W）設置方式C：◆

標識の設置方式について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
路側式	１１
片持式（オーバーハング式）	２１
門型式（オーバーヘッド式）	３１
歩道橋添架式	４１
信号添架式	４２

区　　分	コード
照明柱添架式	４３
電柱添架式	４４
高架橋添架式	４５
添架式（その他）	４６
その他	９９

（Y）支柱形式Ｃ：◆

支柱形式について、該当するコードを記入する。（設置方式が添架式の場合は‘＊’を記入）

区　　分	コード
単　柱　式	１１
複　柱　式	１２
逆　Ｌ　型	１３
Ｆ　　型	１４
テーパーポール型	１５
Ｔ　　型	１６
オーバーヘッド型	１７
そ　の　他	９９

(AA) 表面塗装処理Ｃ

表面塗装処理について、該当するコードを記入する。（設置方式が添架式の場合は‘＊’を記入）

区　　分	コード
亜鉛メッキ式	1
塗　　装　　式	2
溶 剤 塗 装	3
静電粉体塗装 （エポキシポリエステル樹脂吹付）	4
浸漬塗装(塩化ビニール被覆)	5
そ　　の　　他	9

(AC) 基礎形式Ｃ：◆

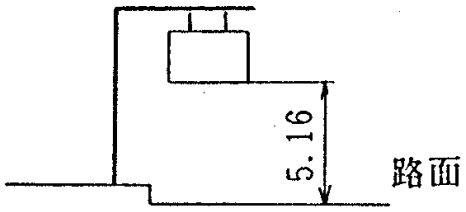
基礎形式について、該当するコードを記入する。（設置方式が添架式の場合は‘＊’を記入）

区　　分	コード
埋　込　型	1
ベースプレート型	2
そ　の　他	9

(AE) クリアランス（m）：◆

設置方式が片持式，門型式等で標識板が車道上に設置されている場合、車道路面から標識板下端までのクリアランスを、小数点以下２位まで記入する。（標識板が車道上に設置されていない場合は‘＊’を記入）

（記入例）



———＞　５．１６

(AH) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（記入例）　昭和６１年　———＞　３６１

↑

年号コード（３：昭和）

(AI) 施設改修年度：◆

施設を改修した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は‘＊’を記入する。

（記入例）　平成　５年　———＞　４０５

↑

年号コード（４：平成）

(AJ) 完成年月：◆

標識を設置した年月を記入する。（年は西暦年で記入）

（記入例）　１９８２年　４月　———＞　１９８２０４

(AK) 新設移設別Ｃ

該当する標識が新設標識か移設による標識かについて、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
新設標識柱	1
移設標識柱	2

(AM) 備考

特記事項があれば５０文字以内の日本語で記入する。

(AN) 市区町村Ｃ：◆

該当する区間の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

（記入例）　茨城県鹿島郡旭村の場合　―――>　コード：０８４０１
（検査数字は含まない）

〔Ｅ０５１〕　標 識 各 板 諸 元

この調査表は、道路標識の表示内容に関するデータを登録するためのものである。

１．一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

○　「E050標識基本」の作成単位毎とする。

○　標識板毎とする。

２．記入事項

（１）工事番号

（２）工事区分Ｃ

（３）施設対応番号

（Ｃ）地整Ｃ

（Ｄ）事務所Ｃ

（Ｅ）出張所Ｃ

（Ｆ）路線

（Ｇ）現旧区分Ｃ

（Ｇ－１）現旧区分

（Ｈ）整理番号１

（Ｉ）整理番号２

（Ｊ）整理番号３

（Ｎ）補助番号

上記（１）、（２）、（３）、（Ｃ）、（Ｄ）、（Ｅ）、（Ｆ）、（Ｇ）、（Ｇ－１）、（Ｈ）、（Ｉ）、（Ｊ）、（Ｎ）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（Ｑ）標識種類番号：◆

「道路六法・道路標識、区画線及び道路標示に関する命令、第１章、第２条、別表第１」で付けられている道路標識（案内、警戒、規制、指示、補助標識等）の種類番号 注) を記入する。た

だし、都道府県公安委員会で設置した標識は省くものとする。

なお、標識種類番号「１１７の２－Ａ」の場合については、「１１７ノ２－Ａ」とひらがなをカタカナに置き換えて記入する。

注）標識種類番号に当てはまらない標識は関連部署との協議の上「９９９」を記入する。

（記入例）　案内標識で

国道番号（１１８）

———>　１１８

（R）上り下り別C

標識板の設置目的について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
上　り　用	1
下　り　用	2
そ　の　他	9

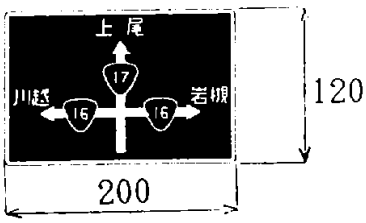
（V）板寸法縦（cm）：◆

（W）板寸法横（cm）：◆

上記（V）、（W）については、標識板の縦（H）、横（B）の寸法について記入する。

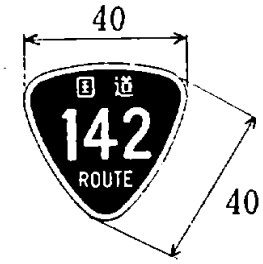
（記入例）

（１０８の３）方面方向及び経由路線



板寸法縦　———>　１２０
板寸法横　———>　２００

（１１８）国道番号



板寸法縦　———>　４０
板寸法横　———>　４０

（３２５）自動車専用

板寸法縦　———>　１００
板寸法横　———>　＊
標識板が円形の場合は、板寸法横の欄に‘＊’を記入する。

（X）板材質C

標識板の材質区分について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
アルミニウム合金板	1
鋼　板	2
防錆処理鋼板	3
合成樹脂板	4
合板（耐水ベニア板）	5
その他	9

（Z）反射照明方式C

標識板の反射照明方式について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード	区　　分	コード	
照明なし	0	全面高輝度	3	注)
外部照明式	1	全面反射	4	注)
内部照明式	2	その他	9	

注）全面高輝度：カプセルレンズ型、プリズムレンズ型(ｶﾌﾟｾﾙﾚﾝｽﾞ型反射シートに比べ、約3倍以上の反射輝度がある）　等
　　全面反射　：封入レンズ型（一般的な道路標識用）

(AB) 板取付方式C

標識板の取付方式について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
吊下式	1
固定式	2
その他	9

(AD) ローマ字有無C

標識板に表示されているローマ字の有無について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
無　し	0
有　り	1

(AF) 新設移設板別Ｃ

該当する標識が新設標識か移設による標識かについて、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
新設標識板	1
移設標識板	2

(AH) 完成年月

標識板を取り付けた年月を記入する。（年は西暦年で記入）

（記入例）　１９８４年１０月　　―――>　　１９８４１０

〔Ｅ０５３〕　標　識　補　修　歴

この調査表は、道路標識の補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

１．一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

○　「E050標識基本」の作成単位かつ「E051標識各板諸元」の作成単位毎とする。

○　補修が行われた毎とする。

２．記入事項

（１）工事番号

（２）工事区分Ｃ

（３）施設対応番号

（Ｃ）地整Ｃ

（Ｄ）事務所Ｃ

（Ｅ）出張所Ｃ

（Ｆ）路線

（Ｇ）現旧区分Ｃ

（Ｇ－１）現旧区分

（Ｈ）整理番号１

（Ｉ）整理番号２

（Ｊ）整理番号３

上記（１）、（２）、（３）、（Ｃ）、（Ｄ）、（Ｅ）、（Ｆ）、（Ｇ）、（Ｇ－１）、（Ｈ）、（Ｉ）、（Ｊ）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（Ｐ）標識番号

該当なしとして‘＊’を記入する。

（Ｑ）補修年月

補修を行った年月を記入する。（年は西暦年を記入）

（記入例）　１９８６年１２月　　―――>　　１９８６１２

（R）補修内容C

補修内容区分について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード	区　　分	コード
標示板の折曲り、ねじれの修復	１１	標示板の取替え	１６
支柱の曲り倒れの修復	１２	支柱の取替え	１７
埋込部のぐらつき修復	１３	塗装の塗替え	１８
基礎の補強	１４	反射材料の修複	１９
照明装置の修復	１５	表示内容の変更	２０
		その他	９９

（T）備考

損傷原因等について５０文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

E050：標識（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分Ｃ	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整Ｃ	半角2文字			○
事務所Ｃ	半角2文字			○
出張所Ｃ	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分Ｃ	半角1文字		○	○
整理番号１	半角8文字		○	○
整理番号２	半角4文字		○	○
整理番号３	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標	999.9	ｋｍ	○	○
距離	9999	m	○	○
上り下り区分Ｃ	半角1文字		○	○
設置箇所Ｃ	半角1文字		○	○
設置方式Ｃ	半角2文字		○	○
支柱形式Ｃ	半角2文字		○	○
表面塗装処理Ｃ	半角1文字			○
基礎形式Ｃ	半角1文字		○	○
クリアランス	9.99	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦	○	○
完成年月	199901	西暦	○	○
新設移設別Ｃ	半角1文字			○
備考	全角50文字			○
市区町村Ｃ	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

E051：標識各板

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分Ｃ	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整Ｃ	半角2文字			○
事務所Ｃ	半角2文字			○
出張所Ｃ	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分Ｃ	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号１	半角8文字		○	○
整理番号２	半角4文字		○	○
整理番号３	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
標識種類番号	半角14文字		○	○
上り下り別Ｃ	半角1文字			○
板寸法縦	999	ｃｍ	○	○
板寸法横	999	ｃｍ	○	○
板材質Ｃ	半角1文字			○
反射照明方式Ｃ	半角1文字			○
板取付方式Ｃ	半角1文字			○
ローマ字有無Ｃ	半角1文字			○
新設移設板別Ｃ	半角1文字			○
完成年月	199901	西暦		○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

E053：標識（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分Ｃ	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整Ｃ	半角2文字			○
事務所Ｃ	半角2文字			○
出張所Ｃ	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分Ｃ	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号１	半角8文字			○
整理番号２	半角4文字			○
整理番号３	半角4文字			○
標識番号	半角8文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容Ｃ	半角2文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照